

## 第三章 腫脹 (S)

腫脹は急性炎症に特徴的な所見です。この時期には発赤とともに疼痛、腫脹を伴うことが多く、この3つが特徴的な急性炎症の所見です。感染以外でも皮膚のかぶれやアレルギーの初期症状にも腫脹が見られます。発赤と同様にその原因を明らかにして、対策を講じる必要があります。

ここに示された症例も多くは発赤症例とオーバーラップしています。



腫脹(S) 

## 症例①



## 症 例

- 33歳
- 男性
- 慢性腎炎

## 診 断

- 出口部急性感染
- 皮膚のテープによるかぶれが軽度にある
- 発赤、腫脹があるが、一部肉芽の形成も見られる

## 治 療

- 抗生素質投与

## ケアの方法

- ポビドンヨード消毒を継続
- ガーゼ使用

## 評 価

- 急性炎症から慢性に移行しつつある
- 抗生素質の投与が必要

評 価	S	C	R	P	D	ISPD計	G	SUR	中元計	Total
	1	1	1	1	1	5	1	1	2	7

## 症例②



## 症 例

- 52歳
- 女性
- 慢性腎炎

## 診 断

- 発赤、腫脹、疼痛を認める典型的な出口部急性感染

## 治 療

- セフカベンピビキシル(CFPN-PI)3x7TD投与

## ケアの方法

- オープンシャワー(水道水・石鹼洗浄)
- 10%NaClを併用
- ガーゼ使用

## 評 価

- 急性感染であり、原因菌を検索し抗生素質で治療する
- さらに10%NaCl使用による出口部ケアで改善した

評 価	S	C	R	P	D	ISPD計	G	SUR	中元計	Total
	2	1	2	1	2	8	0	0	0	8

## 症例③



## 症例

- 33歳
- 女性
- 慢性腎炎

## 診断

- 本例も出口部急性感染
- 発赤、腫脹、疼痛が主体
- 感染は深部への波及の可能性が強い

## 治療

- セフカベンピビキシル (CFPN-PI) 300mg 3x14TD投与

## ケアの方法

- 水道水洗浄から深部への感染波及を考えポピドンヨード消毒に変更した
- ガーゼ使用

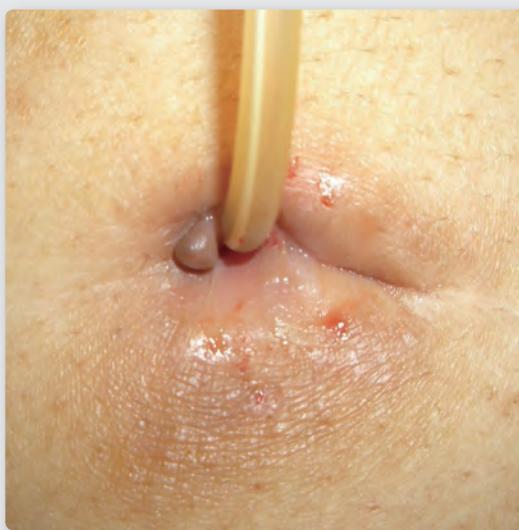
## 評価

- 痂皮の脱落と排膿が強く中等度と判断
- 感染初期であり、この時期のきちんとした治療が重要

## 評価

S	C	R	P	D	ISPD計	G	SUR	中元計	Total
2	2	2	1	2	9	1	0	1	10

## 症例④



## 症例

- 58歳
- 男性
- 糖尿病性腎症

## 診断

- 発赤、腫脹、疼痛などの急性炎症所見が主体
- 排膿も強い
- 痂皮の欠損、肉芽の形成もあり、慢性炎症への移行過程にある

## 治療

- 抗生素質投与
- 10%NaClで繰り返し処置を行う

## ケアの方法

- 水道水石鹼洗浄からポピドンヨード消毒に変更
- ガーゼ使用

## 評価

- 急性炎症から慢性炎症へ移行過程であり、抗生素質の投与と出口部のケアが重要

## 評価

S	C	R	P	D	ISPD計	G	SUR	中元計	Total
2	2	2	1	2	9	2	2	4	13

## 症例⑤



## 症 例

- 62歳
- 男性
- 糖尿病性腎症

## 診 断

- 出口部慢性感染
- 排膿が主体で乾燥している
- 痂皮は完全に消失している事が上方からでもわかる
- 一部に肉芽の形成がある

## 治 療

- 抗生素質投与
- もともとポピドンヨードかぶれがあり水洗い石鹼洗浄に変更

## ケアの方法

- オーブンシャワー(水道水・石鹼洗浄)
- ガーゼ使用

## 評 価

- 発赤、腫脹、はあるものの、肉芽の形成、痂皮の脱落と排膿が主体の慢性感染
- この時期の抗生素質による治療が必要

## 評 価

	S	C	R	P	D	ISPD計	G	SUR	中元計	Total
	2	2	2	1	2	9	1	2	3	12

## 症例⑥



## 症 例

- 58歳
- 女性
- 糖尿病性腎症

## 診 断

- 皮膚のポピドンヨードによる皮膚のかぶれが主体
- 周辺皮膚の腫脹が強い
- 出口部の急性感染を合併

## 治 療

- 水洗い石鹼洗浄に変更
- ステロイド含有軟膏使用
- 抗生剤軟膏を使用

## ケアの方法

- オーブンシャワー(水道水・石鹼洗浄)に変更
- 軟膏塗布
- ガーゼ使用

## 評 価

- 皮膚のポピドンヨードかぶれに二次性の急性感染を合併した症例
- ケア方法の変更が重要

## 評 価

	S	C	R	P	D	ISPD計	G	SUR	中元計	Total
	1	2	2	1	1	7	0	2	2	9

## 症例⑦



## 症 例

- 56歳 ●男性 ●糖尿病性腎症

## 診 断

- もともとはポピドンヨードによる皮膚かぶれ
- 出口部周囲の発赤、腫脹、疼痛が著明
- 排膿はなく、出口部の感染なし

## 治 療

- 水洗い石鹼洗浄に変更
- ステロイド含有軟膏使用

## ケアの方法

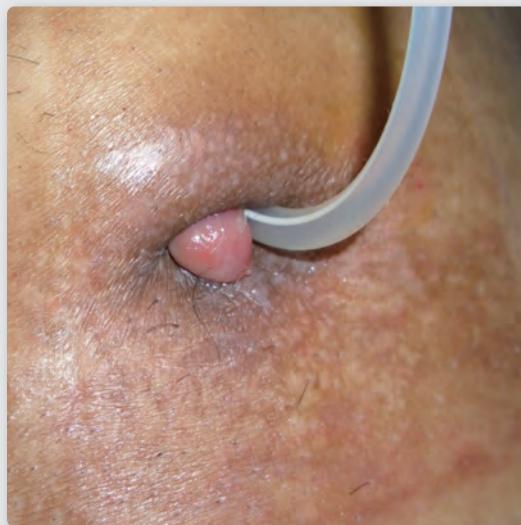
- オープンシャワー(水道水・石鹼洗浄)に変更
- 軟膏塗布 ●ガーゼ使用

## 評 価

- 明らかな感染の所見はない
- このような皮膚かぶれとの鑑別に注意が必要

評 価	S	C	R	P	D	ISPD計	G	SUR	中元計	Total
	2	1	2	1	0	6	0	2	2	8

## 症例⑧



## 症 例

- 44歳 ●男性 ●糖尿病性腎症

## 診 断

- 典型的な肉芽の形成あり出口部慢性感染
- ポピドンヨードによる色素の沈着があり、腫脹が強い

## 治 療

- ポピドンヨード消毒継続(感染時の為)
- 感染改善後はすみやかに、水道水石鹼洗浄に変更
- 抗生素質投与
- ポピドンヨードゲルを使用

## ケアの方法

- ポピドンヨード消毒
- ガーゼ使用

## 評 価

- 皮膚のかぶれに2次性の慢性感染を合併した症例
- 肉芽形成の慢性感染、ポピドンヨードゲルで改善

評 価	S	C	R	P	D	ISPD計	G	SUR	中元計	Total
	2	2	2	1	2	9	2	2	4	13